







八十周年記念誌  
「旭陵八十年」を出

訂正用の貼付シールも用意してあります。お問い合わせ下さい。郵送で申します。

「開港記念門」を生み出した間宮謙一は、「居間石門」である。

八〇年の通称で呼ばれ、江戸時代の醸造酒のはじめか味噌醤油の醸造を掛けたものである。

弘化二年（一八四五年）に生まれた鈴木義徳は、名を道臣といい、九代当主となつて「右衛門」とした。

義徳は、温厚篤実な性格に加え、善仕事の志識、自分の息子が人も立派な軍人で、自分自身で陸軍士官として「おおさか」の為に御奉公でできなかつたの申し証しを以て、郷土の農業と教育の普及を願つて女学校の設立を思つたらしい。（以上）

（販価 実費一千五百円）

郵送料三百円

高女一回生  
磯貝操さんからの  
記念誌の感想

待つて始ました八十年記念

四月十八日誕生日だ。どうもありがとうございました。

（旭陵八年）みごとな表紙  
装幀、慣らしじとみていました。  
あの横顔っぽいボツンと枝葉  
一つその場の雰囲気が浮んで毎日ベーシック  
でした。暇にまかせが来ました。若い皆  
方の話を読み感心許りして居りました。  
一寸自分が恥かしながらります。  
た。

作成中の印刷工場を見学した。

思ひおこして「(ド二三)」を読  
て今更ながら書簡術に従い方  
でその吉田衛門様の御勤居所  
も岐阜の女学校から移されてい  
つやつて同級生で、とてもやさ  
く間家へ伺います。カールサンの生  
徒がそれまでかたと声をか  
て下さったことを、實に有難い  
ことだたと思ひ出しました。  
尚尙介氏のお話、興味深く聞  
きなれましたか? まだ声をか  
ませて貰いました。(ド二三)  
定時制昭31卒  
河井秀明氏  
から感想  
拝啓、梅雨の候、その後如何  
過して下さいか?  
さて、中津高校八十年の記  
誌「H80年」の送付を賜  
厚くお詫申します。  
各ページ共读し、日々の息吹  
を感じた次第であります。又今年  
のものは私自身も投稿したこと  
あり一層の愛着をもって拝見致  
ました。  
福島の方法で職員の在職  
表などは非常に分り易く、と思  
います。私の在学当時の井手先生が  
にも記録上でお会いする事が出来  
ましたことは幸せであります。  
古いては、職員の勤務時間と  
分理解し、謝意を表するもの  
あります。  
私も故郷を離れて二十五年にな  
りますが、何年経つても母校を  
思い出すと、必ず心地良くてそ  
う一つが魅つてしまります。  
又、遠くに離れておりますが、  
中津川の同窓の近況をうかが  
貴重な資料でもあります。  
この他、福島委員会へは、三  
通を越す後悔想文を寄せられ  
お陰様で好評をいたしており  
ました。

八十年記

物故者より生存(謹んで訂正いたします。)					
頁	卒回	氏名	勤務先	住所	電話
20	旧職員	菅井 啓一			
62	本1 市川(加地)つる				
<b>訂正・異動変更・追加</b>					
頁	卒回	氏名	勤務先	住所	電話
130	2	平野 和男	大同生命		06(432)8822
172	10	小池 芳子	〒468 愛知県春日井市松新町5丁目3219		0568(32)8392
193	14	谷中慎子・横子			0427(46)4406
202	16	鶴川英子・鶴原英子(西川)	〒467 東京都練馬区北町1-9-2		03(331)9933

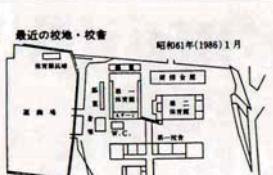
物故者より生存(謹んで訂正いたします。)						
姓	名	姓	名	姓	名	姓
辛國	氏	井	啓一	川	加地	勝
田畠	哲	本	市川	春日	加地	勝
62	本21	62	本21	62	本21	62
訂正・異動変更・追加						
姓	名	姓	名	姓	名	姓
辛國	氏	勤務先	住 所	電 話		
130	2	平野和男	大同生命		06(432)8822	
172	10	小池芳子	〒468 愛知県春日井市松新町5丁目3219	0568(32)8392		
193	14	谷中慎一・横子			0427(46)4406	
207	16	前川富美子・松原富美子(前川)	〒167 東京都練馬区水元台1-9-2	03(931)9231		
314	31	鈴木重	〒508 中津川市本町9-7-33			



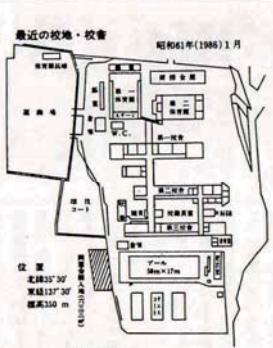
物故者より生存(謹んで訂正いたします。)



## 隣接地の購入



国交会員より常務へ土地の寄贈



購入 現在は、新設の弓道部同好会と練習場として使用されているが、適切有利用法について、学校同窓会で検討中である。

八十年の歩み

